

【Insectopia (インセクトピア)】とは： insect (虫) と utopia (理想郷) を掛け合わせた造語
『蟲たちを含む、地球上に生きる全ての仲間が快適に生きることができる世界』を創るため、SHELLグループがお届けする情報発信ニュースレター。



なぜ都市は害虫獣を生むのか？

コンクリートに囲まれた都市には、森も川もほとんどありません。それでも私たちの身近では、害虫獣の被害が後を絶ちません。なぜ自然の少ない街で、虫やねずみが増え続けるのでしょうか。都市という環境の中で、害虫獣が増えやすくなる理由を、ひもといていきます。

都市開発により街の自然は減っていく一方で、ゴキブリやハエ、コバエ、ねずみといった害虫獣は、私たちの身近で増加傾向にあります。

東京都内では、ねずみに関する相談件数が2023年度に3,629件に達し、10年前の1,860件から約2倍に増加しました。繁華街の調査では、わなを仕掛けてからわずか4時間で30匹ほどのねずみが捕獲された例もあります。

では、なぜ自然の少ない都市で、害虫獣は増え続けているのでしょうか。その背景には、都市特有の環境や、人の暮らしが生み出すいくつかの要因があります。

捨てられた食べものが、害虫獣を呼び寄せる

都市には、多くの食品ロスが存在します。家庭の生ごみ、飲食店、コンビニやスーパーから出る食品廃棄物。こうした食べ残しや廃棄物は、害虫獣にとって格好のエサになります。特に生ごみは、腐敗や発酵によって強い匂いを発し、ゴキブリやハエ、コバエを引き寄せます。人の暮らしが生み出した“食品ロス”が、都市に新たな生態系をつくっているのです。

建物が多い都市は、すみかも多い

都市には高層ビルや住宅、商業施設が密集しています。その中には、配管まわりや天井裏、床下、ダクトなど、害虫獣が身を潜めやすい場所が数多くあります。雨風をしのげ、外敵も少ない建物内は、害虫獣にとって非常に安全な環境です。自然が少ない一方で、「人工的な隠れ場所」が多いことも、都市の特徴といえます。

都市は“年中活動できる環境”

都市部では、ヒートアイランド現象によって気温が高くなりやすく、夜になっても気温が下がりにくい傾向があります。この環境は、害虫獣の活動や繁殖を活発にします。さらに近年は、気候変動による気温上昇も加わり、これまで寒い季節には活動できなかった害虫獣が、一年を通して生き延びられるようになってきました。

駆除ではなく、予防という選択

— 人と自然が共存できる都市衛生の未来を目指して —
では、こうした都市環境の中で、私たちは害虫とどのように向き合っていくべきなのでしょうか。発生の背景が「人の暮らし」にある以上、従来のように“発生してから駆除する”だけでは、十分とはいえません。

害虫対策は、発生してから駆除するだけでなく、食品ロスを減らすこと、ごみを適切に管理すること、侵入や繁殖を防ぐ環境を整えることが重要です。つまり、「発生させない環境をつくる」という視点=予防が、これからの基本となります。

シェルグループは、予防を起点とした環境支援を通じて、人の暮らしと都市環境のあり方を見つめ直していきます。そして、「人と自然が共存できる、都市衛生の未来」を実現していきます。

【シェルグループの事業活動全体像】



ビル建築EXPO2026（住まい・建築・不動産の総合展）へ出展します！

8thCAL(株)は2026年5月13日～15日の間、東京ビッグサイトで開催されるビル建築EXPO2026へ初出展いたします。

ビル建築EXPOは、オフィスビルや商業施設などの設計・施工・管理・メンテナンスに関する製品・技術が一堂に集まる、BtoB専門展示会です。今回は約350社（同時開催展示会含む）が出展し、最新の建材、設備、ビル管理DX、IoT、省エネ技術などの展示が行われます。

8thCAL(株)のブースの見どころ

【ペストコンサルテーション】

一 建築と衛生をつなぐ、新しい有害生物対策 一

「ペストコンサルテーション」とは、建築計画の初期段階から衛生リスクを設計に組み込み、建物全体の有害生物発生リスクを低減するサービスです。

従来のように“発生後に対処する”のではなく、着工前から竣工までの各工程においてリスク低減措置を講じることで、害虫・害獣の侵入・繁殖を未然に防ぎます。

さらに、竣工後のアフターメンテナンスまで一貫して支援し、長期的に安定した衛生環境の維持に貢献します。

会期情報

ビル建築EXPO2026（住まい・建築・不動産の総合展）
会期：2026年5月13日(水)～5月15日(金) 10時～17時
会場：東京ビッグサイト
当社ブース番号：南1-2ホール/S4-11

住まい・建築・不動産の総合展 BREX

住宅ビジネスフェア 2026

非住宅 木造建築フェア 2026

ビル建築EXPO 2026

ビルマネ・ビルメンEXPO 2026

マンション総合EXPO 2026

マンション管理組合 サポート展 2026

賃貸住宅 管理・仲介EXPO 2026

建物の防災EXPO 2026

入場無料 **5/13(水)▶15(金)** **東京ビッグサイト**
10:00-17:00 南1~4ホール&西3・4ホール

シエルグループは、「8thCAL株式会社」と「シエル商事株式会社」の連携により、自然と共生する衛生環境の実現を目指しています。

都市生活に潜むさまざまな衛生リスクに対し、「啓蒙」「教育」「予防」「早期発見」「駆除」までを一貫して提供することで、持続可能な衛生管理体制を構築しています。

ペストコントロールは、発生後の対処だけでなく、“起こりにくい環境をつくる”ことが重要です。

シエルグループは、8thCALがもつ「予防」の視点と、創業65年以上の歴史をもつシエル商事の知見を融合し、都市衛生の品質向上に貢献しています。

建築段階から衛生リスクをコントロールする、新しいペストマネジメントの考え方について、経験と知識豊富な当社スタッフのご案内します。

ぜひ当社ブースへお立ち寄りください！

来場事前登録はこちらから

<https://innovent-expo.jp/brex/entry/>



今月のInsect

写真/解説
中峰 空
8thCAL技術顧問
箕面公園昆虫館館長



ヒサマツハチモドキハナアブ

(久松蜂擬花虻)

ハエ目ハナアブ科

学名：Ceriana japonica

トックリバチやドロバチに擬態していると考えられるハナアブの一種。比較的珍しいハチモドキハナアブで、ケヤキなどの樹液滲出部位に産卵する様子が観察される。

Information

● 害蟲展 season7 開催決定！

—身近に潜む害虫の存在を考え、生き物の“棲み分け”を考える公募展—

会期情報

【東京】MATERIO base ※休館日：月・火
日時：2026年7月11日(土)～7月30日(木) 13:00～20:00
【大阪】箕面公園昆虫館 ※休館日：火
日時：2026年9月2日(水)～9月14日(月) 10:00～17:00



● 害蟲展公式SNSフォローお願いします！



害蟲展公式X



害蟲展公式Instagram

ECOSYSTEM.EXHIBITION

Insectopia インセクトピアの配信登録はこちらから！

QRコードを読み取り後、登録フォームよりご登録ください。ニュースリリースや採用情報、イベントなどの最新情報を配信中です。

